

情報公開・通知文書

【研究の名称】

入院高齢者の日常生活活動改善に焦点を当てた看護師-作業療法士間協働モデルの効果

【研究の目的・意義】

入院高齢者の日常生活活動の低下は身体的ケアの増加、在院日数の延長により入院医療費を増加させ、個人のみならず社会に大きな負担をかけることが知られています。そのため、入院患者の日常生活全般のケアに従事する看護師と日常生活機能の改善に従事する作業療法士の協働はケアとリハビリテーションを結びつけ、獲得した機能を日常生活に汎化するために重要であると考えています。本研究の目的は高齢者医療における新しい実践モデルとして開発した看護師-作業療法士間協働モデルの実践の根拠を構築し、その有用性を明らかにすることです。

【研究の方法および期間】

看護師-作業療法士間協働モデルが適応された患者と研究実施前の時期に入院した同属性患者間で比較します。介入群50名、対照群50名とします。包含基準は65歳以上、一般病棟及び地域包括ケア病棟に入棟、リハビリテーションが処方された患者とします。介入群の対象者（対象者の同意の取得が困難な場合は、家族または後見人）の同意を得て実施します。対照群は令和2年、3年度のデータベースから抽出します。調査項目は、年齢、性別、診断名、既往歴、家族構成、入院前の居住形態、リハビリテーション実施時間、在院日数、日常生活動作遂行状況、身体拘束、紙おむつ使用の有無です。研究期間は2022年4月1日～2024年3月31日を予定しています。

【研究協力の辞退について】

令和2年、3年度の過去のデータを使用させて頂くにあたり、この研究に協力を希望されない患者様は、下記担当者までお知らせ下さい。研究に協力されない場合であっても、患者様が不利益を被ることはありません。

【個人情報の保護】

本研究では患者様のカルテからデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護に最大限の注意を払い、匿名化の確保を行います。統計処理のため院外に得られた情報を持ち出す場合は、個人情報の保護に十分に配慮し、個人が特定できる情報を削除します。さらに、データのデジタル化、第三者が閲覧することができないようにファイルにパスワードを設定し、持ち運びます。この研究で得られた成果は、今後、学会発表や学術雑誌等で公に発表されることがありますが、研究対象者を特定できる情報を公開することはありません。

2022年 3月 18日

【研究責任者問い合わせ先】

〒370-0006

群馬県高崎市間屋町1-7-1

TEL 027-365-3366 E-mail:kenkondoot@gmail.com

群馬パース大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 近藤健